

株式会社オーイケ

Pick Up!

平成29年度

事業計画名

業界で類を見ない製造工程自動化および
開発力強化施策の事業化

概要

コンクリート二次製品の市場は競合が激しく
なっており、軽量化や高耐久等の品質強化が急
務。

他社にない方法により製造工程を自動化し、
コストダウンを図ることで、経営資源を開発部
門に投下し開発力を高める事業。

分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

＜事業類型＞ 一般型

成果

他社にない方法により製造工程を自動化、コ
ストダウンを実施。経営資源を開発部門へ集中
させたことで、軽量高耐久化の品質強化等に向
けた体制整備が進んだ。

競合が激しい中で独自性を発揮し競争力を高
めることができた。



オーイケ全景



OK式油水分離槽



施工事例 電線共同溝

平成30年度

事業計画名

施工が簡易な環境配慮型・景観配慮型のコンク
リート2次製品の開発

概要

環境面、景観面に考慮した製品に注力し他社と
の差別化を図り利益率増加を目指す。独自ノウハ
ウによる機能製品の営業施策を展開し新規シェア
獲得。

併せて生コンミキサー導入、工場拡張により生
産能力を大幅増加させる。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社オーイケ（山形村）

時代のニーズに応える発想力と開発力で、
つねにオリジナルのコンクリート二次製品づくりに挑戦。

190件を超える特許・意匠権を取得

道路や河川、電気・通信設備などに使用されるコンクリート二次製品。安全・快適なインフラ整備にはなくてはならない資材ですが、

長野県内業界はじめ全国で競合の激しい分野でもあります。

オーイケは1970（昭和45）年、県内業界でも最後発のメーカーとして創業し、コンクリートブロックの下請け製造を開始しました。オイルショックなど厳しい経営状況を経た79年、2代目トップに大池悦二社長が就任。「他社がやっていないことをやる」「他社がやっているものはより良く、より安く」を理念に掲げ、独自製品の研究開発をスタートしました。

そして90年、OK式ハンドホール（電設資材用製品）を開発。販売先はメイン顧客としていた建設業界ではなく、電気工事店や商社でした。当時、ハンドホールを製造する会社は県内になく、県内市場を独占。同社成長の礎となりました。その後も大池社長は次々と独自製品を開発し、現在まで190件を超える特許・意匠権を取得、競合他社との差別化を図っています。

現在、同社はOK式ハンドホール、OK式パーキング、OK式油水分離槽、オメガ側溝など、多種多様なコンクリート二次製品を開発・製造。さらに太陽光発電、テナントビルやマンションなどの開発・管理などの事業にも進出しています。



コンクリート蓋



OK式ハンドホール



コンクリート蓋搬送ロボットシステム

コンクリート蓋の製造工程で脱型時に製品が破損する、検査漏れにより不良クレームが発生するといった課題を解決するため、平成29年度補正のものづくり補助金を活用。コンクリート蓋搬送ロボットシステム、溝蓋整列装置などを導入し、業界でも類を見ない製造工程の自動化に取り組みました。その後、作業のスピードアップによる生産能力の向上、製造品質の安定による製品欠損ロス率の減少、作業人員の削減とそれにとまなうコストダウンなどを実現し、検査工程の自動化にも挑戦しています。

この成果を活かし、顧客ニーズにあった商品開発に欠かせない人材の育成や登用など、開発部門に経営資源を集中。コンクリート二次製品の軽量・高耐久化など品質強化に向けた開発体制を構築しました。さらに部署横断で開発会議を開催し、営業部門がつかんだ顧客ニーズを製造部門と共有することで、よりスピーディーに製品開発に結びつける仕組みもつくっています。



溝蓋整列装置

同社ではこのような取り組みにより社内技術力が向上。新規顧客に対してオーダーメイドの製品づくりを行うなど、顧客ニーズに合った高付加価値商品の開発・販売を進めています。



株式会社オーイケ

代表 代表取締役社長 大池 悦二
創業 1970（昭和45）年
資本金 4,000万円
従業員数 130名
本社 東筑摩郡山形村54-1



TEL.0263-98-2238 FAX.0263-98-3804

事業内容 コンクリート二次製品、環境製品の製造・販売、太陽光発電事業など

<http://www.ooike.net>

業界で類を見ない製造工程自動化を実現

コンクリート二次製品の製造工程は人手に頼る部分が多く、同社も不良発生や効率性に問題を抱えていました。